

デジタルプレスのご案内

Fuji Keizai
Marketing Research &
Consulting Group

電気式蒸気ボイラ市場の現状と将来展望2025

～上げDRの手段としての需要が期待～

【市場調査資料サマリー】
2025年2月

株式会社富士経済
ソーシャル・ソリューション事業部

〒541-0043 大阪府大阪市中央区高麗橋3-3-11 淀屋橋フレックスタワー
TEL : 06-6228-2020 FAX : 06-6228-2030

■ 調査概要

I. 調査テーマ

「電気式蒸気ボイラ市場の現状と将来展望2025 ～上げDRの手段としての需要が期待～」

II. 調査目的

- 2023年度の改正省エネルギー法の施行を受け、産業需要家においては非化石エネルギーの導入、電気の需要最適化、DRの取組実績の報告義務化が実施されている。
- 系統側の電力需給の変化を受け、現在は系統用蓄電池の導入による需給調整が行われているが、上げDRとしてDSRを活用していく動きもみられ、上げDRのリソースの一つとして、「電気式蒸気ボイラ」に焦点が当てられ始めている。
- ボイラは生産プロセスにおいて中核となる温熱源であるが、Scope1・2に係る一次エネルギー消費量を削減したいというユーザーニーズは大きく、部分電化を行うことで、蒸気/温水ボイラの負荷を下げるができる可能性も秘めている。
- 本調査では、電気式蒸気ボイラの導入ポテンシャル容量や数量、業種別にみた電気式蒸気ボイラの親和性について調査を実施し、DSRとしての電気式蒸気ボイラの普及可能性について調査分析を実施する。

III. 調査項目

調査対象	調査対象メーカー
電気式蒸気ボイラ	三浦工業、日本電熱、高尾鉄工所、直本工業、大阪電機工業
蒸気ボイラ	三浦工業、サムソン、日本サーモエナー、ヒラカワ、IHI汎用ボイラ、前田鉄工所、川重冷熱工業、等

IV. 調査方法

- ・各社統計情報の活用
- ・弊社専門調査員による主要参入企業に対する訪問調査
- ・弊社保有データの活用

V. 調査期間

2024年12月～2025年2月

VI. 企画・調査・編集

株式会社富士経済 ソーシャル・ソリューション事業部

■ 目次

I. 総括分析編

1. 電気式蒸気ボイラの普及に向けた将来展望/導入課題	2
2. 需要分野別/容量別にみた電気式蒸気ボイラの代替可能性	3
3. 主な普及支援政策動向	4

Ⅲ. 電気式蒸気ボイラ市場編

1. 市場規模推移（2021年度～2030年度、フロー市場）	
1) フロー市場（金額×数量）	8
2) フロー市場（容量×数量）	9
2. 業態別需要分野市場（2023年度実績、フロー市場）	10
3. 業態別需要分野市場（2030年度予測、フロー市場）	11
4. 需要分野別市場（2023年度実績、フロー市場）	12
1) 業務用	12
2) 産業用	13
5. メーカーシェア（2023年度実績）	15
6. 電気式蒸気ボイラの産業用における導入事例	16
7. 電気式蒸気ボイラの採用理由/現状における導入課題/今後の方向性・課題	17
1) 採用理由	17
2) 現状における導入課題	17
3) 今後の方向性・課題	18

■ 目次

Ⅱ. 蒸気ボイラ市場編

1. 市場規模推移（2021年度～2030年度、フロー市場）	
1) フロー市場（金額×数量）	20
2) フロー市場（容量×数量）	21
3) 熱源別蒸気ボイラ市場（2023年度、2030年度）	22
2. 業態別需要分野市場（2023年度実績、フロー市場）	23
3. 需要分野別市場（2023年度実績、フロー市場）	24
1) 業務用	24
2) 産業用	25
4. 市場規模推移（2021年度～2030年度、ストック市場、容量×数量）	26
5. 業態別需要分野市場（2023年度実績、ストック市場）	27
6. 需要分野別市場（2023年度実績、ストック市場）	28
1) 業務用	28
2) 産業用	29

■アウトプットイメージ

I.総括編

脱炭素・省エネ法規制動向などを考慮しつつ
電気式蒸気ボイラの普及に向けた将来展望/導入課題を示唆



2. 用途別・容量別に見た電気式蒸気ボイラの代替可能性

電気式蒸気ボイラの種類別、業態別に
期待される導入先や導入案件の傾向、上げDRとしての活用可能性を把握

用途別	平均容量		容量		容量	
	2023年度	2024年度	2023年度	2024年度	2023年度	2024年度
期待される導入先	工場・事業場	工場・事業場	工場・事業場	工場・事業場	工場・事業場	工場・事業場
期待される導入案件の傾向	工場・事業場	工場・事業場	工場・事業場	工場・事業場	工場・事業場	工場・事業場
期待される導入案件の傾向	工場・事業場	工場・事業場	工場・事業場	工場・事業場	工場・事業場	工場・事業場

電気式蒸気ボイラの主な普及支援政策動向を整理

3. 主な普及支援政策動向

令和5年度補正予算案では、環境省の「SDG's事業」にて工場・事業場における省エネルギー化促進施策を推進し、大企業と連携企業が連携してCO2削減を促す「省エネ・CO2削減推進事業」を実施する。この事業は、省エネ・CO2削減推進事業の推進を目的として、大企業と連携企業が連携してCO2削減を促す「省エネ・CO2削減推進事業」を実施する。

省エネ・CO2削減推進事業	省エネ・CO2削減推進事業	省エネ・CO2削減推進事業	省エネ・CO2削減推進事業
省エネ・CO2削減推進事業	省エネ・CO2削減推進事業	省エネ・CO2削減推進事業	省エネ・CO2削減推進事業
省エネ・CO2削減推進事業	省エネ・CO2削減推進事業	省エネ・CO2削減推進事業	省エネ・CO2削減推進事業
省エネ・CO2削減推進事業	省エネ・CO2削減推進事業	省エネ・CO2削減推進事業	省エネ・CO2削減推進事業

II.電気式蒸気ボイラ市場編

2021年度～2030年度の金額・容量・数量ベースの市場規模を予測



＜得意ベース（2023年度実績）＞

	評價項目	
	指標	權重比
① 量產用		
② 少量用		
③ 地域別 (海外)		



	評價標準	
	數量	權成比
① 量感用		
② 座感用		

[illegible]

電気式蒸気ボイラのメーカーシェアを把握

5.メーカーシェア（2023年度実績）

「数量ベース (2023年度実績)」

「数量ベース（2023年度実績）」



6. 電気式蒸気ボイラの増設用における導入事例

[illegible]

電気式蒸気ボイラの導入事例や採用背景、課題を整理

項目	評価項目	評価基準	評価結果
1) 組織・体制	組織・体制の整備状況	組織・体制の整備状況	組織・体制の整備状況
	組織・体制の整備状況	組織・体制の整備状況	組織・体制の整備状況
	組織・体制の整備状況	組織・体制の整備状況	組織・体制の整備状況
	組織・体制の整備状況	組織・体制の整備状況	組織・体制の整備状況
2) 環境における導入課題	環境における導入課題	環境における導入課題	環境における導入課題
	環境における導入課題	環境における導入課題	環境における導入課題
	環境における導入課題	環境における導入課題	環境における導入課題
	環境における導入課題	環境における導入課題	環境における導入課題

■お問い合わせ・お申し込みについて

調査資料名：電気式蒸気ボイラ市場の現状と将来展望2025 ～上げDRの手段としての需要が期待～

WEB掲載先：<https://www.fuji-keizai.co.jp/report/detail.html?code=112411910>

頒価 : 330,000円（税抜 300,000円）（CD-ROM版）
 495,000円（税抜 450,000円）（ネットワークパッケージ版）
 33,000円（税抜 30,000円）（電子書籍）※オプション（電子書籍単体での購入はできません）

発刊日 : 2025年2月21日

ページ数 : 29ページ

報告書体裁 : CD-ROM

お申込方法 : 弊社営業担当または上記URLより、お問い合わせください。

【お問い合わせ先】

株式会社富士経済
ソーシャル・ソリューション事業部
Tel06-6228-2020